

## 事業の概況

代表取締役社長 那須和史

当期は、日本経済が大きく様変わりする中でのスタートとなり、我社の稼働時間も実績で63期以来の200万時間を超え、稼働率の高い一年となりました。

このような状況下において、我社の当期利益は前期比、増収減益の決算となりました。

減益の大きな要因としては、客先の工事が前期以前に計画された物件であった事と、我社の業種に於いても、人手不足が深刻になりつつある現状があります。

第70期は、我社の事業に対する考え方を、協力会社に対して機会あるごとに周知し、我社と一体となった会社運営に徹し、協力頂くと共に

1. ごみ焼却設備の延命化工事
2. 小、中規模の建設工事(ごみ焼却設備、ボイラ、発電タービン)

の受注を重点目標として、本社、東京支社、事業所が営業活動に力を注ぎ、関係者の皆様に安心して頂ける結果を残せるように最大の努力を行う所存であります。

今後とも、ますますのご理解とご支援を賜わります様、お願い申し上げます。

以上